

小樽後志

小樽支社 〒047-0032
小樽市稲穂2丁目8番4号
▽ニュース・話題の提供は
報道部 ☎0134・22・6171
FAX 21・2120
otaru@hokkaido-np.co.jp
▽新聞購読や販売所、広告に
ついての問い合わせは
営業部 ☎0134・23・3171

倶知安支局 〒044-0004
倶知安町北4条東3丁目
☎0136・22・1004 FAX 22・4001

余市支局 〒046-0003
余市町黒川町6丁目25の20
☎0135・23・3290 FAX 23・2190

岩内支局 〒045-0013
岩内町高台139の3
☎0135・62・0189 FAX 62・8280

購読者向け
どうしん
電子版
今すぐ登録!




クジラの「ひげ板」
アクセサリ

色合いの違い 加工に生かす



政子さん。文
受けたら、
ワシクジラの
磨いてオリジ
完成させた。
2011年
パーナイフ
ペンダント
プレスレット
など種類を増
クセサリーの
プラザ(色内
そこから興味
れる観光客お
子さんは「一
いを生かせる
たい」と話し

作。同時にひげ板も譲り受け
たことから、政子さんが「き
れないので何か作りたい」と
アクセサリーを思いついた。
「最初はとういうものが作
れるか手探りだった」と言う

小樽の釣具店カメヤフィッ
シングタックルには、つやや
かな黒や茶色のアクセサリ
が並ぶ。店主の仲川文教さん
(65)の妻・政子さんがクジラ
の「ひげ板」から加工した工
芸品だ。
文教さんは日本鯨類研究所
(東京) からクジラのひげや
骨の提供を受け、疑似餌を製

樽商大OB、札幌で



小樽商科大に在学当時、
小樽市内の居酒屋「味処ほ
たる」(花園1)の常連客
だった同大OBの2人が、
同店の人気メニューを并に
した「ローストビーフ丼」
を持ち帰りや宅配で販売す
る事業を、12日から札幌市
内で始める。ローストビー

フはサークルの打ち上げな
どで同店を利用したころの
思い出の味で、2人は「焼
き加減やピリ辛の味付けが
最高」とPRしている。
東京在住の板垣佑弥さん
(30)と、札幌市に住む篠村
恭太さん(29)。ともに会社
員で小樽商大卒。YOSA
K OIソーランサークルの
先輩と後輩だ。当時仲間と
の懇親などで同店を利用
し、店主の松本綾子さん
(68)と親交を深めた。
事業のきっかけは板垣さ
んが今夏、小樽を訪れた際
に閑散とした繁華街を見た
こと。「お世話になった店
を助けたら」と、人気メ
ニューを持ち帰りや宅配で販
売する事業を思いついた。

ローストビーフ丼の試作品を
手にする(左から)篠村恭太
さん、松本綾子さん、板垣佑
弥さんら

松本さんに呼び掛け、篠
村さんの協力も得て準備。
札幌市中央区南9西7の篠
村さんの会社が所有する事
務所を、週1日夜にシェア
する形で店舗として賃借
し、松本さんが通って調理
1杯千円で販売する。
営業は毎週月曜午後6
11時。板垣さんは今後「冷
凍したローストビーフのネ
ット通販にも乗り出した
い」とし、松本さんは「孫
ほどの年の子に経営の手助
けをしてもらって、うれし
い」と喜んでいる。問い合
わせは板垣さん☎080・
4113・1935。

(鈴木孝典)

美しい村守ろう
ごみ拾い熱心
【赤井川】NPO法人「日
本で最も美しい村」連合事
業部(東京)に加盟する町
村が一斉に清掃活動をする
「第1回ビューティフルデ
ー」が4日行われ、村内で
もボランティア32人がごみ
拾いをした。
同連合は2005年10月
4日に設立。この日、設立



「赤井川」NPO法人「日
本で最も美しい村」連合事
業部(東京)に加盟する町
村が一斉に清掃活動をする
「第1回ビューティフルデ
ー」が4日行われ、村内で
もボランティア32人がごみ
拾いをした。
同連合は2005年10月
4日に設立。この日、設立

なじみの居酒屋支援 人気料理販売へ

仕事も休暇も 番屋拠点に

小樽市祝津に残る明治後期のニシン番屋を拠点に、仕事と休暇を兼ねて滞在する「ワーケーション」の無料体験モニターツアーが始まり、札幌市の夫婦が3泊4日の日程で祝津地区に滞在している。夫婦は旧青山別邸など地域の歴史建造物の見学などを通じて、マチの風情を実感しながら、都会を離れた静かな環境でデスクワークに集中している。

小樽のNPOモニターツアー

小樽市のまちづくり団体
NPO法人おたる祝津た
りげ会(磯谷昌揚一理事長)
主催。夫婦はホームペ
(34)で、知人の勧めでツア
ーに応募した。体験は2家
族限定。トレバーさん夫妻
は応募12組の中から神奈川
県在住の3人家族とともに
当選、7日から10日まで滞
在している。

2人はホテルノイシュロ
ス小樽(祝津3)に宿泊し
ながら、地域散策などの観
光メニューを体験。仕事は、

公衆無線LAN「Wi-Fi
i(ワイファイ)」や机な
どを新たに備えた「茨木家
中出張番屋」(同)に徒歩
「通勤」する。
9日も同番屋で仕事に取り
組んだトレバーさんは
「パソコンで動画の送受信
を行う際も、ネットの通信
速度が速くて良い。静かな
環境で文章作成などに集中
できる」、智子さんは「札
幌から40分ほどという近さ
が魅力。都会とは全く違っ
た雰囲気、リフレッシュで
きる」と語った。
参加者には会員制交流サ



イト(SNS)などを通じて
祝津の魅力発信してもら
う狙い。トレバーさんたち
は、おたる水族館や旧青山
別邸の見学の様子などを動
画投稿サイトで発信する予
め、16日に滞在する。

札幌の夫婦、祝津に滞在 「静かで集中できる」

ニシン漁で栄えた地域の
歴史を感じながら旧青山
別邸の見学を楽しむトレ
バーさん夫妻

寒い避難所…どう運営

小中学生が「防災学校」



【神恵内】神恵内小(30
人)と神恵内中(15人)は
7日、防災に関する知識を
学ぶ「1日防災学校」を高
校で開き、児童・生徒が避
難所の運営手法や防災グッ
ズの使い方を身に付けた。
1日防災学校は子どもた

教員の感染防止 間仕切りを寄贈

小学校に大川鉄工所
小樽市の大川鉄工所(高
島1)は、飛沫による新型
コロナウイルス感染を予防
するためのパーティション
(間仕切り)10セット(10
万円相当)を小樽・手宮中
央小に寄贈した。同小は職
員室に設置した。



2日に寄贈。パーティシ
ョンはアクリル板で、高さ
や幅を調節できる可動式。
ネジでフレームを机に固定
して使う。
同社は市内の飲食店のカ
ウンターなどで利用するパ
ーティションを製造してお
り、大川晃弘社長(40)が地
域のためにできることをし

たい」と発表。同社の工場
(色内3)に近い同小で役
立ててほしいと思いい立っ
た。同小は早速、教員が向
かい合う机の間に設置。
谷本慎司校長(56)は教
員同士の感染を防ぐ一助に
なる」と感謝した。
(日野夏美)